

## インフルエンザワクチンについて

- インフルエンザワクチンに含まれる株は…

A/H1N1(新型インフルエンザと呼ばれたもの)  
A/H3N2(A香港型)  
B型

の3種(3株)です。



- 例年インフルエンザは12月-4月に流行しています。以前は11月-2月でしたが、地球温暖化などの影響で流行時期が変化しています。
- ワクチンを接種してから抗体が上昇するまでに2-3週間はかかるとされています。ですから12月中旬までに、遅くとも年内には接種を終了するのが賢明です。
- ワクチン接種後、抗体は5ヶ月は維持されます。ワクチンと流行株が一致している場合の免疫の持続は6-8ヶ月という報告もあります。

## ★ 今年のインフルエンザワクチン

- ① まず今年是小児のワクチン接種量が変更になりました。

対象年齢	接種量(ml)	接種回数
生後6ヶ月-3歳未満	0.25	2
3歳-13歳未満	0.5	2
13歳以上-大人	0.5	1

昨年に比べ、3歳以上では2倍の接種量になりました。

これは世界の標準接種量と同じになったのです。

日本の標準接種量で接種した時よりも免疫原性に優れ、副反応が増加しないことがわかったのです。

- ② 3.11の震災でワクチン製造メーカーに被害がありました。

(4つのメーカーのうち1つ)

他のメーカーが増産体制に入っていますが、年内中に間に合うかどうかは不明です。

### ➡ ①、②のことから…

- i) 小児の場合は接種量も増えたことから小児科としては必要なワクチンの数が増えるわけです。
- ii) 今年は年内中に接種するワクチンが手に入りにくいだろう、ということです。
- iii) 結果として昨年までのようにワクチンが手に入りにくいいため、入荷した分のみを予約として接種する予定です。10月下旬までには、詳細がわかると思います。

## 今年のインフルエンザワクチンについて

- 電話による完全予約制
- 入荷が確認できた分を接種します
- 生後6ヶ月-13歳未満は2回接種⇒2回分を確保します
- 1回目3000円、2回目2500円(予定)

## お知らせ

### < 小児夜間急病センター当番日 >

10月13日(木) 19:30-22:30(受付) 岐阜市民病院にて

### < 休診日 >

10月31日(月) 瑞穂市の会議出席のため